

## スズキとソラコムが、「電動モビリティベースユニット」の 事業化に向けてIoTを活用した実証実験を開始

IoTを活用して「電動モビリティベースユニット」による社会課題解決を加速



スズキ株式会社（以下、「スズキ」）は、株式会社ソラコム（本社：東京都港区、代表取締役社長 玉川 憲、以下「ソラコム」）とともに、電動車いすの技術を応用し、様々なロボットの足回りを提供する「電動モビリティベースユニット」の事業化に向けてIoTを活用した実証実験に取り組みます。

電動モビリティベースユニットは、スズキが長年電動車いすの開発で培ってきた走破性や安定性といった移動の技術を活用し、多様なロボットの足回りとなることを目指し開発しています。

このロボットの足回りに、パートナーが自律走行やAIなど様々な技術を組み合わせることで、ロボットによる物流や除雪、土木建設、計測・監視など様々な分野の課題解決をパートナーとともに目指します。

今回の実証実験では、電動モビリティベースユニットに通信モジュールとIoTプラットフォームSORACOMを活用し、リアルタイムで車両の稼働状況やGPSによる位置情報などをクラウドに連携します。様々な分野における電動モビリティベースユニットの使い方を可視化し、今後の製品開発への活用を目指します。また、サポートやメンテナンスなどお客様の立場になったサービスの検討に取り組みます。

ソラコムとスズキは、2024年2月20日にモビリティサービス分野におけるIoT先進技術の活用に向けた合意書を締結しました。両社は、持続可能な社会に向け、ビジネス・生活のインフラとなるモビリティサービスの実現を目指してまいります。

以上